

JIS A 5536

F★★★★★

JAIA 4VOC基準適合

床仕上げ材用接着剤 R-111

両面塗布形

コンポジションビニル床タイル、コルクタイル、ゴムタイルなどの各種床材や塩ビ巾木（**出隅・入隅部のみ**）を施工するのに適した合成ゴム系溶剤形の両面塗布形接着剤です。初期強度が強いので納まり性に優れています。



合成ゴム系溶剤形接着剤

溶剤形

危険物第四類第一石油類 危険等級Ⅱ

容量	包装形態	梱包単位
15kg	缶	1
3kg	缶	6

標準使用量(両面塗布)

全面塗布	300~400g / m ²	2.5~3.3m ² / kg
------	---------------------------	----------------------------

性 質

外 観	黄色 粘稠液
主 成 分	クロロプレンゴム系
待 ち 時 間	15分以内 / 23℃
張付け可能時間 (両面塗布)	15~120分 / 23℃

用 途

適用箇所	屋内の床面
適用下地	モルタル、ボード類、木質系下地
適用材料	<ul style="list-style-type: none"> ・コンポジションビニル床タイル ・コルクタイル ・ゴムタイル ・塩ビ巾木（出隅部分及び入隅部分のみ）

選択上の注意事項

- ・R-111は指定用途の組み合わせ以外には使用しないで下さい。
- ・接着施工する前に、床材の柄違いを確認し、欠損や反りのある物は使用しないで下さい。

使用方法

【下地の確認】

- モルタル下地の場合
下地は、平坦・平滑に仕上げ、施工後2週間（冬期は4週間）以上養生し、よく乾燥していることを確認します。
- ボード類下地の場合
タワミのない厚手の合板またはパーティクルボードを使用し、目違いや目地あきのない下地とします。

【下地の調整及び清掃】

- 1.モルタル下地に凸部がある場合は、サンダー掛けやケレン処理により平滑にします。また、凹部がある場合は、下地補修材（リフロアーFなど）で平滑にします。
- 2.モルタル下地のもろい部分やレイタンスは必ず取り除いてから下地補修材（リフロアーFなど）で平滑に仕上げます。
- 3.下地面及び被着体のゴミ・ホコリ・油分・錆・塗料などは接着不良の原因となりますので取り除きます。

【接着剤の塗布】

下地及び被着材の両面に、ハケやヘラを用いて均一に塗布します。この時、張り合わせた時の塗布位置が下地と被着材で同じ位置となるようにします。

チェック：吸い込みの多い材料やソリの強い材料を接着する場合は2度塗りをします。

【張り付け】

待ち時間を取った後（接着剤の表面を指で触れても接着剤が指に着かなくなってから）張り合わせます。

チェック：待ち時間を取ることで、初期接着力が高くなります。

【圧 着】

張り合わせた後、ローラーやゴムハンマーなどでよく圧着します。

【養 生】

施工完了後、接着剤が硬化するまで（16~24時間）は、重量物の運搬や歩行をしないように養生します。

R-111

施工上の注意事項

- 両面塗布で使用し、待ち時間を必ず取って下さい。
- 塩ビ系床材料の種類によっては、接着剤が軟化する可能性があります。
- 塩ビ巾木に全面使用すると後日縮みが発生する可能性があります。出隅、入隅部のみの使用として下さい。
- 接着用途以外には、絶対使用しないで下さい。
- 品種の異なる接着剤や溶剤と併用・混合しないで下さい。
- 5～35℃の環境で使用・保管して下さい。
- 取り扱い場所及び作業箇所は換気頻度を多く行って下さい。（施工中は窓を開け、施工後も日中は10日間前後、常に窓を開ける）
- 施工場所により周辺への溶剤臭気の拡散に注意し、必要に応じて周辺住民へ事前に連絡して下さい。
- 引火性があります。使用時、取り扱い場所は火気厳禁として下さい。
- 保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従って下さい。
- 使用時は必要に応じて保護具を着用して下さい。
- 開缶した接着剤は、できるだけ早く使い切ってください。

取り扱い上の注意事項

- R-111を取り扱う時は、以下の項目を守って下さい。
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
 - 子供の手の届かない所に保管して下さい。
 - 使用後や休憩前には、手洗いやウガイを行って下さい。
 - 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
 - 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
 - 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
 - 皮フや衣服に付いた時は洗い落として下さい。
 - 誤飲防止と食品への混入を避けるために、保管場所は食品と区別して下さい。
 - 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。
 - 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
 - ご不明な点は当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート(SDS)をご参照下さい。
 - R-111をご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

■警告及び注意



引火性あり 有害性あり 火気厳禁 吸入注意

- 掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。
- 本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされますようお願いいたします。

株式会社 **タイルメント** 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区宿跡町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900

東京支店 TEL: 03-3616-2201 FAX: 03-3616-3711	名古屋支店 TEL: 052-411-3511 FAX: 052-411-3516	仙台営業所 TEL: 022-262-5751 FAX: 022-262-5753	広島営業所 TEL: 082-231-1200 FAX: 082-231-7666	北陸出張所 TEL: 076-237-7480 FAX: 076-237-6478	大垣工場 TEL: 0584-89-2225 FAX: 0584-89-2090
大阪支店 TEL: 06-6386-6141 FAX: 06-6386-6146	札幌営業所 TEL: 011-717-5216 FAX: 011-717-5217	横浜営業所 TEL: 045-242-7441 FAX: 045-242-8136	福岡営業所 TEL: 092-451-6503 FAX: 092-481-0621		技術開発センター FAX: 0584-87-0010

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

関連企業
◆株式会社イズカ・タイルメント ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION, LTD.

1612Mac05